

平成14年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針（案）  
平成13年7月14日 総合科学技術会議（環境分野抜粋）

環境問題が広域化・複雑化する中で、総合的な研究への展開が遅れており、また、社会科学的知見も踏まえた予見的・予防的研究が重要となっている。このため、持続的発展を可能とする社会の構築を目指して、緊急性、重要性、国民生活の質的向上や産業活性化へのインパクト等を考慮し、以下の事項に特に重点化し、タテ割りの弊害を排除し産学連携で取り組むシナリオ主導型の研究イニシャティブを創設する。

ア) 地球温暖化研究

地球温暖化に関する観測と予測、温室効果ガスの自然や経済・社会への影響の評価及び影響を回避あるいは最小化する技術・手法の開発

イ) ゴミゼロ型・資源循環型技術研究

資源消費とゴミ発生が少なく、しかも環境負荷を最小化するような物質循環・低環境負荷型の技術とシステムの開発

ウ) 自然共生型流域圏・都市再生技術研究

自然共生型の都市の形成を目指した、都市の環境状況や流域圏における生態系の観測・診断・評価技術及び流域圏管理モデルの開発

平成15年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針（案）  
平成14年6月19日 総合科学技術会議（環境分野抜粋）

「地球温暖化対策推進大綱」（平成14年3月19日地球温暖化対策推進本部決定）及び「生物多様性国家戦略」（平成14年3月27日地球環境保全に関する関係閣僚会議決定）並びに「持続可能な開発に関する世界首脳会議」に向けた検討等を踏まえ、個別研究を集成・再構築したイニシヤティブの下に、研究開発を推進する。

- (i) 地球温暖化研究
  - 気候変動観測・予測・影響評価技術の高度化及び観測データ相互利用システムの構築
  - 温暖化抑制政策研究
  - エネルギー利用等による人為起源の温室効果ガスの排出削減技術及び隔離・固定化技術
- (ii) ゴミゼロ型・資源循環型技術研究
  - 循環型社会創造に向けた支援システムの開発
  - 地域特性に適合したゴミゼロ・資源循環技術のシステム化技術
  - 廃棄物汚染環境の修復・再生技術
- (iii) 自然共生型流域圏・都市再生技術研究
  - 流域圏・都市の環境状況の観測・診断・評価技術
  - 自然・生活環境の保全等のための自然強制化技術
  - 流域圏を考慮した都市再生シナリオ・実践システムの開発
- (iv) 化学物質リスク総合管理技術研究
  - 生態系影響評価やリスク情報の相互伝達システム等、化学物質リスク評価。管理技術の高度化
  - 有害化学物質の生産・排出等に係る削減技術及び無害化処理技術
- (v) 地球規模水循環変動研究
  - アジアモンスーン地域を主要な対象とした水循環観測・予測技術
  - 水循環変動の生態系・社会影響評価技術とそれに基づく対策技術